



薬剤も保管が悪いと変質します。座薬や点眼薬など、冷蔵庫で保存した方がよい薬もあります。薬局でもらう薬の説明書に書いてある保管法を守ってください。特に注意書きがない場合は、缶に乾燥剤と一緒に入れ、涼しい場所に置いておくのをおすすめします。

これからの季節、梅雨で湿気を帯びて錠剤の形が崩れたり、夏の暑い部屋で粉薬が黄ばんだりす

⑤9 薬の取り扱い(薬剤科)

することも。見た目で形や色がおかしかったら服用しないことです。

また、以前もらった薬の流用はしないでください。一つの疾患に対して病院でもらった薬は、治ったら処分するのが基本。例えば、同じようなかゆみの症状でも、原因や適切な薬の強さはさまざま。前のかゆみ止めがまた使えるか、素人では判断できません。

下剤など自己調節するものや、飲み忘れにより

余った薬は、病院の医師 感じる方は、朝食後、夕や調剤薬局に相談すれば、日数調整して余らなごに、薬を一つの包みにまとめ「一包化」をしてもらえば、飲み忘れ

服用錠剤の多少に関わらず薬の管理が難しいと (荒川敏洋薬剤科長・談)

一包化で飲み忘れ防止



冷蔵庫で保管される薬剤＝名古屋市中区の中日病院で



中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。☎中日病院＝052(961)2491